

日本の総人口の減少が始まって数年が経過しました。二〇二五年には、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という『超・超高齢社会』になると言われています。また、現在と同水準の人口を維持できるのは、東京と近郊の首都圏と沖縄等数県のみ。長野県を含む大半の県は、軒並み人口を一割減らすと推定されています。

その課題



広丘吉田 立人さん
おぎ なさ たつと
萩無里 立人さん

吉田地区におけるこの数年の年少人口の変化はさほど大きくありませんが、区あるいは常会単位でみると大きく減少するところがあります。一方、高齢者は確実に増加します。

国は増加する社会保障費を削減するために、医療・介護をはじめとする分野の歳出削減をしています。『保育園落ちた』の声に耳を傾け歳出のあり方を変えるため、地方の声を国に届けて欲しいと思います。

市民の声

少子化が進む昨今、出産・子育てのしやすい地域環境が求められています。

子育てしやすい地域づくりを



大門 美喜世さん
わたなべ みきよ
渡辺 美喜世さん

現在、塩尻市内には、子育て支援センターや子ども広場などがあり、親子同士の交流の場は充実しています。その一方で、いざ職場へと考えた時、保育園が定員いっぱいに入園することができない、未満児の保育料が高く、預けることができないなど、働きたい親にとって大きなハードルとなっています。

また、市内には、出産できる施設が無く、出産をするには不便な地域となっています。行政が積極的に働きかけて、市内でも出産できる施設を整備していただくことも、必要だと思っています。安心して出産・子育てできる地域にしていだくことが、子育て世代の切なる願いです。

市議会レポート

議員研修会を開催

(平成29年1月20日)

講演 「塩尻市とその周辺地域の地質環境と予想される地震災害」

講師 大塚 勉 氏

議員研修会は、議員の資質向上と政策立案能力の向上等を図るため毎年開催しているもので、本年度は信州大学教授の大塚勉先生からご講演をいただきました。

大塚先生は、昭和62年に理学博士の学位を取得され、現在は信州大学の全学教育機構教授を務められ、主に地質構造の解明とその形成過程を明らかにする「構造地質学」を研究されています。

講演では、実際に長野県で起きた地震とそのメカニズム、また、塩尻周辺に存在する活

断層を実際の写真を見ながら説明していただきました。なかでも、固い地盤の場合は活断層が地表に現れるが、軟弱な地盤の場合は、地表に現れにくいことなどに触れ、全ての活断層の位置が特定されているわけではないことを改めて確認できました。

この講演の内容を生かし、「いつ」「どこで」発生するか分からない震災に対して減災への施策の提言を行うなど、災害に強い地域をつくり上げていきたいと思います。



議員研修会の様子

6月定例会の予定

6月1日	開 会 日
9日	一般質問
12日	
13日	
14日	委員会審査
15日	
16日	
20日	閉 会 日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています！

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っています。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

議会あれこれ

◆最近、「忬度そんたく」という言葉が注目されている。早くも今年の流行語大賞の候補だとか。

辞書によると、忬度とは他人の心中を推しはかることだそうである。相手を思い気配りすることは必要だが、気を回し過ぎないことも大切で、その度合いは実に難しい。

◆3月は卒業シーズン、旅立ちの時でもある。心も体も立派に成長した姿に誰もが応援のエールと拍手を送り、未来の活躍を願う。一方、子ども達を取り巻く貧困は日本全体の問題である。本市では29年度から本格的に対策が始まるが、実効性に期待したい。

◆平成28年度、行政視察に53団体が来塩した。有害鳥獣対策、市民交流センターに関心が寄せられている。ともに自らのために議論を重ね取り組んできたことだ。桃李もの言はざれども下自ら蹊を成す。叡智を集め最善をつくす、これが最高の宣伝ではないか。

議会基本条例推進委員会 広報部会

◎山口 恵子 ◎篠原 敏宏
小澤 彰一 平岡 正治
横沢 英一 丸山 寿子

◎部長 ◎副部長

E-mail gika@city.shiojiri.lg.jp